

2023年8月期決算説明会資料

株式会社エヌ・ピー・シー（グロース：6255）2023年10月13日



INDEX

1. 2023年8月期業績
2. 市場環境 当社の取り組み
3. 2024年8月期業績予想
4. 中期経営計画（2024年8月期～2026年8月期）

2023年8月期業績

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

2023年8月期 決算概要 連結損益計算書



(単位：百万円)

	2022年8月期		2023年8月期								
	実績		期初予想 (2022.10.12)		修正予想 (2023.4.12)		実績				
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初 予想比 (%)	修正 予想比 (%)
売上高	4,379	100.0	9,034	100.0	9,125	100.0	9,320	100.0	112.8	3.2	2.1
売上総利益	1,526	34.8	1,297	14.3	1,648	18.1	1,944	20.9	27.4	49.9	18.0
販売管理費	906	20.7	954	10.6	990	10.8	967	10.4	6.7	1.4	△ 2.3
営業利益	620	14.2	342	3.8	658	7.2	976	10.5	57.4	185.4	48.3
営業外収益	24	0.5	3	0.0	9	0.1	6	0.1	△ 75.0	100.0	△ 33.3
営業外費用	27	0.6	4	0.0	3	0.0	20	0.2	△ 25.9	400.0	566.7
経常利益	617	14.1	342	3.8	664	7.3	963	10.3	56.1	181.6	45.0
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	535	12.2	342	3.8	664	7.3	963	10.3	80.0	181.6	45.0
法人税等	3	0.1	58	0.7	124	1.4	191	2.0	6,266.7	229.3	54.0
法人税等調整額	152	3.5	0	-	6	0.1	△221	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	379	8.7	283	3.1	533	5.8	993	10.7	162.0	250.9	86.3

(注) 1. 前期比、期初予想比及び修正予想比はその増減比です。

2. 2023年8月30日にも業績予想の修正を発表しましたが、実績値に近い数字のため記載を省略しています。

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

3

2023年8月期 決算概要 期初予想からの推移

売上高

- ・ First Solar社の新工場（米国、インド）向け装置をスケジュール通り売上
- ・ 上期に売上予定だった国内電子部品業界向けFA装置は下期に売上
通期の全体の売上高はほぼ予定通り
- ・ 部品売上が好調に推移し、業績を底上げした
期初予想 約450百万円 → 実績 約750百万円

売上総利益

売上総利益率：期初予想 14.3% → 修正予想 18.1% → 実績 20.9%
仕入コストなどの原価低減実現、部品の売上好調が年間を通じて継続し利益率が向上した

販売管理費

研究開発費、租税公課等が減少
人件費（賞与、福利厚生費等）が増加
結果としてほぼ期初予想通りとなった

営業利益・経常利益

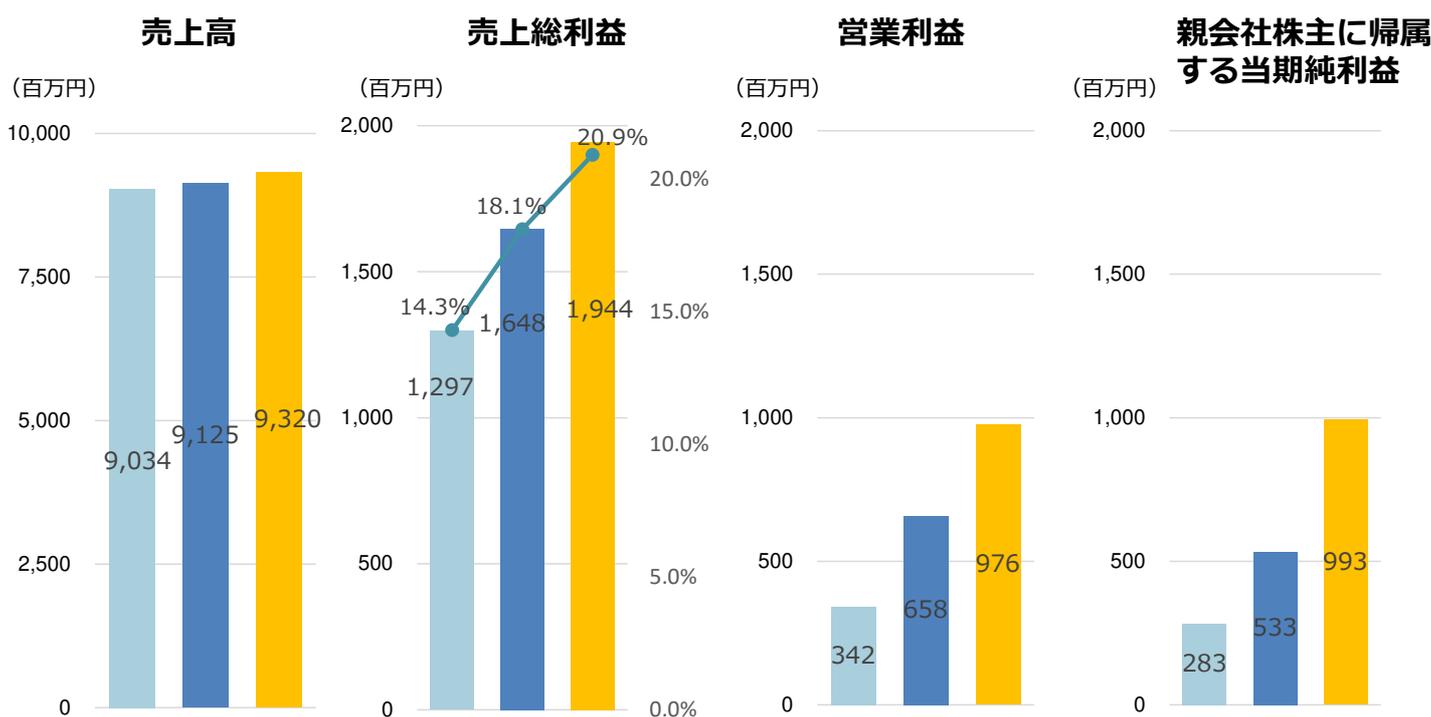
売上総利益が増加したため、予想を上回って推移した

親会社株主に帰属する当期純利益

2024年8月期の利益計画に伴って繰延税金資産を積み増したため、利益が増加した

2023年8月期 決算概要 期初予想からの推移

■ 期初予想 ■ 修正予想 ■ 実績 ● 売上総利益率



2023年8月期 決算概要

装置関連事業

(単位：百万円)

	2022年8月期		2023年8月期		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	4,090	100.0	8,689	100.0	112.4
売上総利益	1,487	36.4	1,742	20.0	17.1
販売管理費	268	6.6	253	2.9	△ 5.6
営業利益	1,218	29.8	1,489	17.1	22.2

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比はその増減比です。

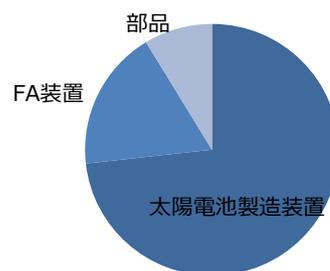
■売上高

- 太陽電池製造装置：
 - First Solar社の米国・インドの新工場向け装置
 - 稼働中のラインへの改造・増設など（新製品である両面パネル製造のための改造を含む）
 - 国内メーカー向け衛星用太陽電池製造装置
- FA装置
 - 電子部品業界の国内主要顧客や、自動車業界向け装置
- 部品
 - First Solar社の稼働中の6工場が稼働率が高く、交換部品や消耗品の売上が好調
 - その他、新工場の立ち上げに伴い交換部品などの販売が増加

■売上総利益

First Solar社の新工場向け装置、国内FA装置案件で原価低減を実現したことと、部品の販売好調により十分な利益を確保

売上高の内訳



2023年8月期 決算概要

環境関連事業

(単位：百万円)

	2022年8月期		2023年8月期		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	288	100.0	631	100.0	119.1
売上総利益	39	13.5	201	31.9	415.4
販売管理費	65	22.6	68	10.8	4.6
営業利益	△25	-	132	20.9	-

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比はその増減比です。

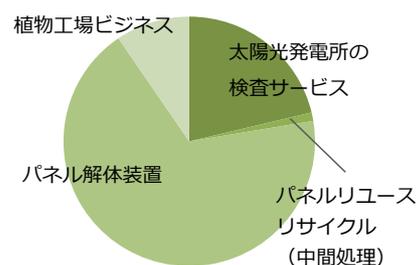
■売上高

- 検査サービス：大規模太陽光発電所の竣工前検査やスポット検査を予定通り実施
- リユース・リサイクル：ほぼ予定通りの売上を計上
- パネル解体装置：
 - 自動ライン 3 (仏、日)
 - フレーム除去装置 2 (米、日)
- 植物工場ビジネス：フル生産を続け、業務用を中心に生産分はほぼ全て販売

■売上総利益

検査サービス、パネル解体装置での原価低減が要因となり高い利益率を実現

売上高の内訳



2023年8月期 決算概要

受注高・受注残高

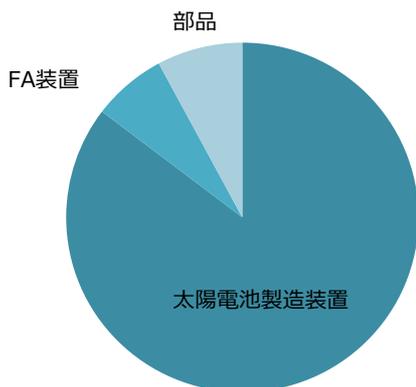
(単位：百万円)

	2022年8月期		2023年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	6,241	7,943	10,698	71.4	9,952	25.3
環境関連事業	673	485	467	△ 30.6	322	△ 33.6
合計	6,914	8,429	11,166	61.5	10,274	21.9

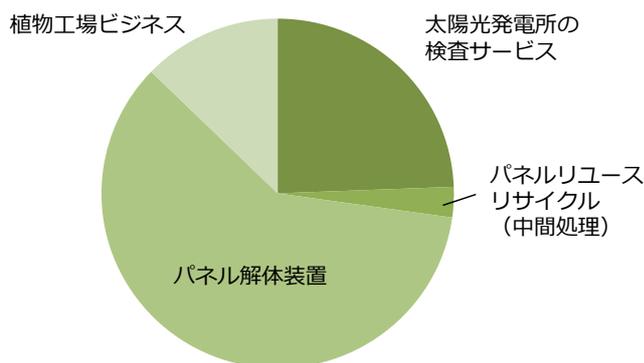
(注) 前期比はその増減比です。

受注高の内訳

装置関連事業



環境関連事業



Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

8

2023年8月期 決算概要

受注高・受注残高

装置関連事業

- ・ 太陽電池製造装置：
 - First Solar社：アラバマ新工場、オハイオ工場増設分の装置（2024年8月期売上予定）
新製品のパイロット装置を受注
（結晶シリコンと薄膜系のタンデムパネルなど）
 - その他：国内メーカー数社からペロブスカイト型太陽電池用のパイロットラインまたは単体装置を受注
- ・ FA装置：
 - 国内電子部品業界の主要顧客から新工場向け装置を受注
- ・ 部品：
 - First Solar社の既存工場、新工場向け部品の受注が好調
受注額 2022年8月期 約460百万円 → 2023年8月期 約820百万円 前年比約80%増加

環境関連事業

- ・ 検査サービス、リユース・リサイクル：堅調に受注を獲得
- ・ パネル解体装置：
 - 自動解体ライン 1（オーストラリア）
 - ガラス分離装置 1（日本）
 - フレーム除去装置 4（米国1、日本3）

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

9

2023年8月期 決算概要

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022.8末	2023.8末		2022.8末	2023.8末
資産	12,296	13,611	負債	5,186	5,537
流動資産	8,702	9,963	流動負債	5,127	5,463
現預金	3,084	4,880	買掛金・電子記録債務	2,170	2,445
受取手形・売掛金・電子記録債権	538	1,262	前受金	2,731	2,474
仕掛品	4,668	3,578	引当金	53	155
原材料・貯蔵品	17	11	その他	173	389
その他	395	232	固定負債	58	73
固定資産	3,594	3,647	純資産	7,110	8,074
建物・構築物（純額）	1,789	1,630	資本金・資本剰余金	5,553	5,547
土地	1,548	1,548	利益剰余金	1,789	2,739
その他	257	469	自己株式	△344	△320
			その他	112	108

変動要因

(資産)

- ・好調な受注、売上が継続し総資産が拡大
- ・繰延税金資産を積み増し、固定資産が増加

(負債)

- ・利益を従業員に還元するため、賞与引当金が増加

健全性

- ・自己資本比率 59.3%
- ・無借金経営を継続

市場環境
当社の取り組み

装置関連事業：①太陽電池製造装置 First Solarとの取引

First Solar社スタンダード製品である薄膜系太陽電池のバックエンドラインの一部工程に装置を提供

対象工場	生産能力 (GW)	場所	稼働	取引状況	当社売上計上予定
0-5 (既設)	9.8	オハイオ マレーシア ベトナム	稼働中	売上済 改造・増設継続	—
6	3.3	オハイオ	2023年上期 生産スタート	売上済 FY2023 2Q	—
7	3.3	インド	2023年上期 生産スタート	売上済 FY2023 4Q	—
増設	0.9	オハイオ	2024年	受注済 FY2023 1Q	2024年8月期
8	3.5	アラバマ	2024年	受注済 FY2023 1Q	2024年8月期
R&Dセンター	シリコン結晶タンデム 開発装置	オハイオ	-	受注済 FY2023 2Q	2024年8月期
R&Dセンター	その他開発装置	オハイオ	-	受注済 FY2023 4Q	2025年8月期
9	3.5	ルイジアナ	2026年	受注見込 FY2024	2025年8月期

- ・ 2024年8月期売上予定分は契約時点で適正な利益率を確保している
引き続きコスト削減に努める
- ・ 稼働中のラインが増加することで改造・部品販売が増加 部品販売の営業も強化中
- ・ タンデム型等様々な技術の研究開発が積極的に行われている

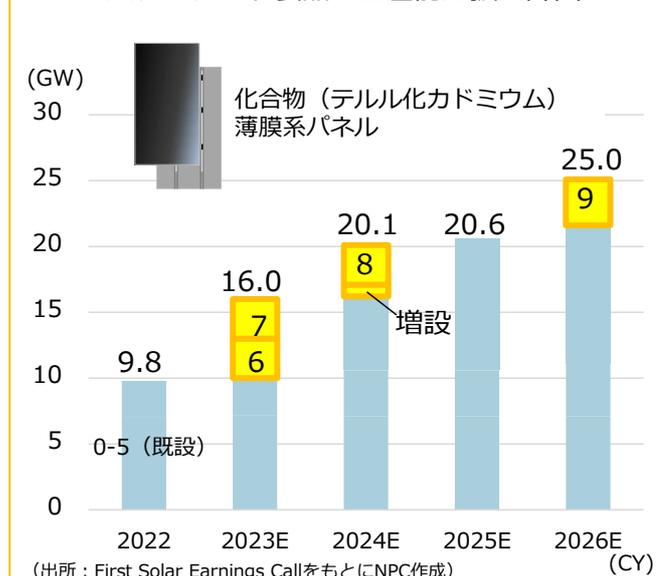
装置関連事業：①太陽電池製造装置 First Solarとの取引

First Solar社における受注状況と設備投資、研究開発

過去最大の受注残高 受注残高 **77.8 GW** + 受注見込 **48.5 GW** = **126.3 GW**

(出所：First Solar '23 2Q Earnings Call)

スタンダード製品の生産能力拡大計画



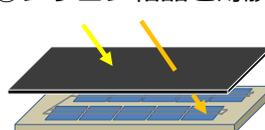
パネル1枚当たりの出力(W)を増やすことで生産量を拡大し、受注に対応するべく新製品を研究開発

①両面パネル



独自に開発した透明のバックシートを使用し両面から受光する受光量が増えることとパネルの温度上昇を抑えることで出力が向上

②シリコン結晶と薄膜のタンデムパネル



異なるタイプの太陽電池を組み合わせることにより、太陽光の波長を幅広くとらえることができ、出力が向上

※2023年5月、さらなる研究開発のため、ペロブスカイト型太陽電池など薄膜系で高い技術を持つスウェーデンのメーカーを買収

スタンダード製品の増産と新製品の研究開発の装置需要を取り込んでいく

装置関連事業：①太陽電池製造装置 First Solar以外の取引

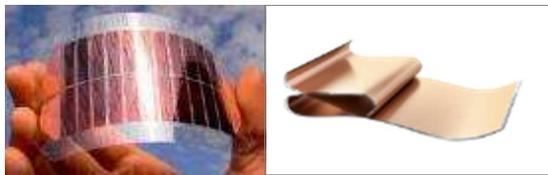
薄膜系太陽電池

First Solarに薄膜系太陽電池製造装置を長年提供
他の薄膜系太陽電池に経験を活かす

他の薄膜系太陽電池と共通するプロセス：

- 電極形成
- シート積層
- ラミネーション（貼り合わせ）
- ラミネーション後プロセス
（トリミング、フレーム、
J-box、その他各種部品取付）

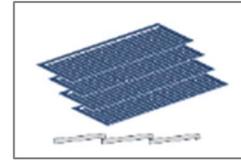
- ・ペロブスカイト型太陽電池
国内メーカーからパイロット装置、ラインを受注済
別のメーカーからも引合多数
- ・有機薄膜など各種薄膜系太陽電池製造装置も
商談が進行中



結晶系太陽電池（特殊用途）

経験の豊富な太陽電池製造装置メーカーとして
高度な提案により差別化

- ・米国住宅用太陽電池メーカーと増設の商談が進行中



- ・国内衛星用太陽電池メーカーへ製造装置を売上済
リピート受注に向け継続的に提案



装置関連事業：②FA装置・真空貼合装置

FA装置（オーダーメイド製品）

- ・電子部品業界の国内主要顧客との取引
2023年8月期に予定していた案件を売上
新工場向け装置の受注が継続見込み
- ・自動車業界等の顧客
実績にもとづきリピート受注を目指す



FA装置事業開始時に目標としていた売上10億円を達成
松山工場の生産能力やオーダーメイド装置への対応を強みとして更なる大手顧客の獲得を目指す

真空貼合装置（スタンダード製品）

- ・用途が広く様々な製品に使用される
太陽電池製造においては必要な装置であり、ペロブスカイト太陽電池の開発、生産のための需要が増えている
また、板状の製品の貼り合わせ、貼り合わせに必要なシートの開発を目的とした需要も増えている



①太陽光発電所の検査サービス

太陽光発電所の検査サービス

- ・大手顧客からの受注を継続的に確保 ストックビジネスとして安定

年度	FY2021	FY2022	FY2023
検査実施数	34件	33件	40件

累計検査実施数 308件

※2023年8月31日現在 同じ発電所を複数回検査した件数を含む

【参考】

当社で検査を実施した大規模発電所
 備前メガソーラー（岡山県）111MW
 鬼首太陽光発電所（宮城県）146MW

・今後の取り組み

- ①FIT認定済み未稼働案件と、稼働済発電所の定期検査を引き続き受注
- ②法改正により2023年3月から使用前自己確認が新たに義務化された小規模発電所、企業や自治体で増加しているPPA案件の受注を獲得
- ③太陽光発電所以外の風力発電所、バイオマス発電所などに検査サービスの対象を拡大

②パネル解体装置

導入状況（2023年8月期までの累計）と注力市場の状況

地域／導入装置	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	海外			合計
									欧州	北米	豪州	
フレーム除去装置	1			(1)		(1)	1	(2)	1	1(1)		4+(5)=9
ガラス分離装置			1	(1)	1							2+(1)=3
自動解体ライン		2	1			1			1		(1)	5+(1)=6

注：数字は売上件数、（ ）は受注済件数です。

- ・日本：環境省、経産省、自治体などの補助金を活用した装置導入が継続
- ・欧州：仏企業へ納入したラインの見学会実施（5月、9月）実績を活用し、他国の欧州産廃業者へ展開する
- ・北米：フレーム除去装置の需要が先行する見込み営業を強化
- ・豪州：一部の州で使用済みパネルの埋立が禁止され、リサイクルへの関心が高まっている



他社装置との差別化

ホットナイフ分離法はガラスと金属の分離性が高く、分離後のガラスを有価で販売できる
 欧州大手板ガラスメーカーによる、当社装置によって分離したガラスをリサイクルガラスとして板ガラスに使用する評価が順調に推移している。

SDGsに貢献する事業

1. 植物工場ビジネス
2. 肥料化ビジネス
3. 松山市SDGs推進協議会
太陽光発電設備の循環システム分科会

SDGsに貢献する事業

① 植物工場ビジネス



目的
事業開始の

工場の余剰スペース活用

地元での知名度向上
→社員のモチベーション向上
→採用・人材確保

新規事業の模索
気候変動をはじめとする環境
課題解決に貢献するビジネス

目的の達成状況

人工光植物工場野菜を栽培、業務用を中心に愛媛県内のスーパーなどで販売

今後増産に使用できるスペース

年度	23/4	24/4 (予定)
採用人数 (新卒)	5	11

安定生産・安定供給を継続

226kWの中古パネルを設置し、植物工場の電力の一部を賄う

使用されていなかった工場D棟2階部分を活用して植物工場を設置

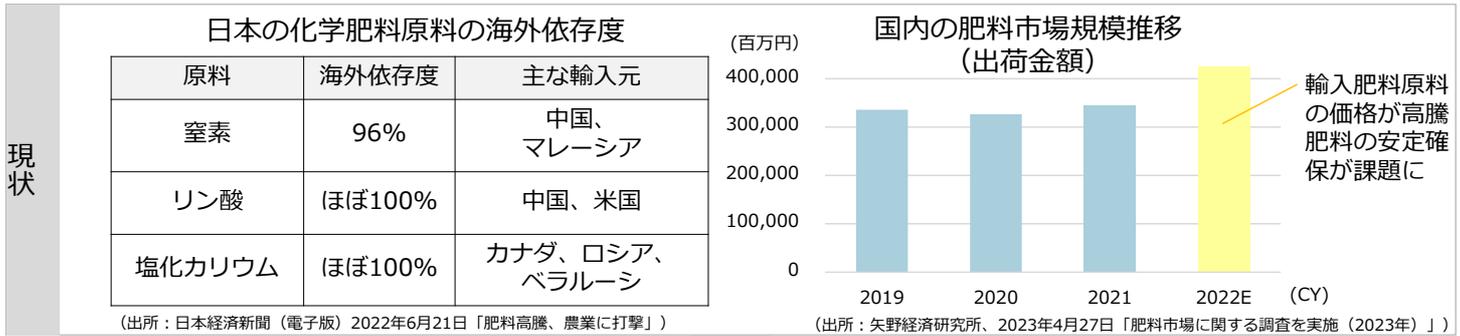
学生から植物工場への関心は高い

現状・今後の課題

売上高の推移

年度	2021	2022	2023 (FY)
売上高 (百万円)	~10	~40	~60

- ・原材料費高騰に対しては価格を改訂で対応
- ・フル生産 (約1,080kg/週)、全量販売を継続
- ・人員確保が厳しいため増産ができない、新規顧客を増やせない
- ・付加価値の高い品種への切り替えを検討していく



鶏糞・食品残渣を利用した有機肥料の製造を研究

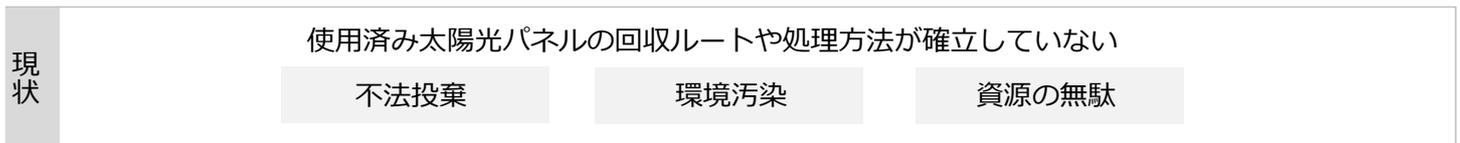
鶏糞をメタン発酵させ、その残渣を乾燥させて「窒素」「リン酸」「カリ」を豊富に含む有機肥料を製造するプラントの試験運用に成功 この技術を応用して食品残渣を使用した肥料製造プラントにも取り組む

【研究パートナー】 株式会社インターファーム、住商アグリビジネス株式会社

肥料製造プラント、メンテナンスサービスの提供

時期：2024年8月期営業活動開始
 ターゲット：農業従事者や肥料関連企業
 目標：2026年8月期に売上高10億円
 研究開発費：20百万円
 (2022年8月期～2023年8月期)

メタン発酵により生じたメタンガスを残渣乾燥のエネルギーの一部として活用するエネルギー循環型の肥料化プラント



地元である松山市のSDGs推進協議会において、太陽光発電設備の循環システム分科会を提案、主催

【活動内容】

- 太陽光パネル処理に関する周知活動
- リサイクルネットワーク形成
リユース・リサイクルの実証実験
- 分離されたガラスの用途開発

【NPCの役割】
事務局／パネルの中間処理など

【分科会参加団体】
松山市、愛媛大学、(株)愛媛銀行、(株)オオノアソシエーツ、金城産業(株)、(株)クリエネ、四国ガス(株)、城東開発(株)
地元自治体、大学、銀行、企業が積極的に参加

2024年8月期業績予想

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

22

2024年8月期 業績予想



連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年8月期（予想）			
	第2四半期（累計）		通期	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	3,329	100.0	10,384	100.0
装置関連事業	3,128	94.0	9,865	95.0
環境関連事業	200	6.0	519	5.0
売上総利益	877	26.3	2,615	25.2
装置関連事業	831	26.6	2,459	24.9
環境関連事業	46	23.0	156	30.1
販売管理費	514	15.4	1,030	9.9
営業利益	363	10.9	1,584	15.3
営業外収益	1	0.0	3	0.0
営業外費用	2	0.1	4	0.0
経常利益	363	10.9	1,584	15.3
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
税引前当期純利益	363	10.9	1,584	15.3
親会社株主に帰属する当期純利益	250	7.5	1,081	10.4

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

23

売上高

既に多くの案件を受注済みであり、受注残高を着実に売り上げていく

装置関連事業

- ・ First Solar社のアラバマ新工場向け装置、オハイオ工場増設分、シリコン結晶系と薄膜系のタンデムパネル開発用の装置
- ・ 国内太陽電池メーカー向けのペロブスカイト型太陽電池パイロットライン
- ・ 国内電子部品業界の主要顧客、その他自動車関連等の顧客向けFA装置

環境関連事業

- ・ パネル解体装置の国内外への売上
- ・ 検査サービス、植物工場ビジネスの堅調な売上を見込む

費用・利益

- ・ First Solar社案件は一定の利益を確保した価格で受注済
売上総利益率 25.2%
- ・ 販売費及び一般管理費では給料手当の上昇を見込む
- ・ 米国での売上増加に伴い、米国法人税が増加見込み
(2023年8月期 約20百万円 → 2024年8月期予想 約300百万円)

配当予想

- ・ 7.0円 (2023年8月期と比較して1株あたり1.0円増配 配当性向13.9%)

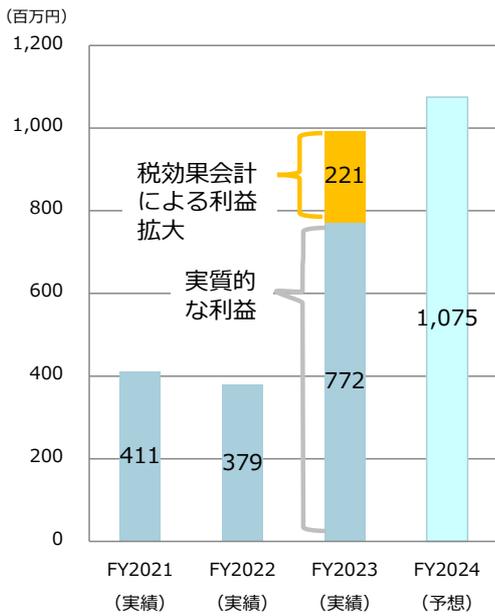
2024年8月期 投資計画

設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位：百万円)

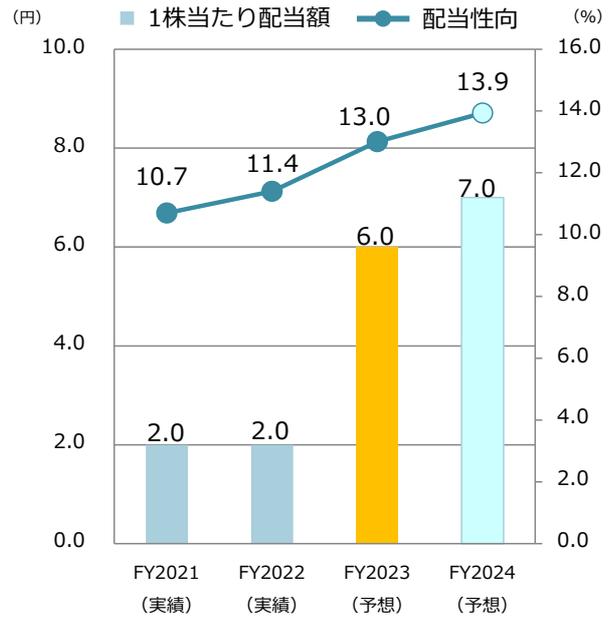
	2022年8月期 実績	2023年8月期 実績	2024年8月期 予想	備考
設備投資費	70	15	142	製造棟空調入替 サーバー入替、基幹システムカスタマイズ等のIT 関連投資
減価償却費	229	209	214	
研究開発費	52	38	66	肥料化ビジネス関連、パネル解体装置関連

親会社株主に帰属する当期純利益



- ・ 2023年8月期
繰延税金資産が増加し、利益が拡大した
- ・ 2024年8月期
米国での売上増加に伴い米国法人税が増加
→当期純利益の伸び幅にやや影響する見込み

剰余金の配当



- ・ EPS増加に伴い増配
- ・ 配当性向 : FY2023 13.0%
FY2024 13.9% (予想)

(注) 各会計期間の会計基準に従い算出した利益で計算した数値となっております。

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

中期経営計画 (2024年8月期～2026年8月期)

外部要因

- ・ First Solar社の生産能力拡大が順調に進捗
- ・ First Solar社の積極的な新製品開発による装置需要の増加
- ・ 日本国内におけるペロブスカイト型太陽電池の実用化に向けた研究開発の進捗

内部要因

- ・ コスト削減、価格転嫁を順調に実現
- ・ 検査サービス、部品販売などがストックビジネスとして安定化
- ・ 肥料化ビジネスの事業化に目途が立ち、当初より規模も拡大する見込み



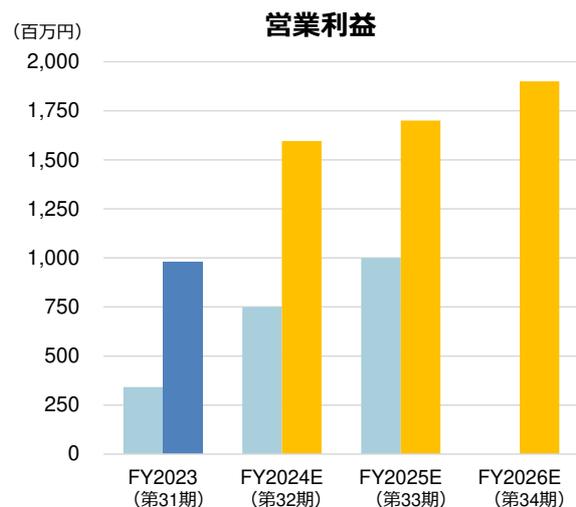
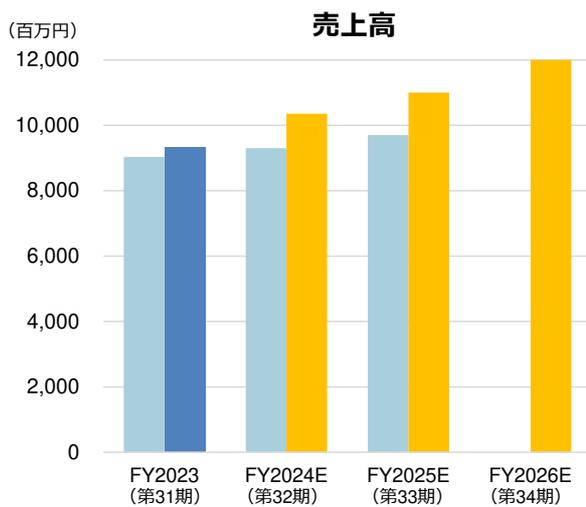
中期経営計画が順調に進捗 数値目標の見直しへ

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

28

中期経営計画（2024年8月期-2026年8月期）

■ 旧中期計画 ■ 2023年8月期実績 ■ 新中期計画



	2023年8月期 (第31期) (実績)	2024年8月期 (第32期) (計画)	2025年8月期 (第33期) (計画)	2026年8月期 (第34期) (計画)
売上高	9,320	10,384	11,000	12,000
装置関連事業	8,689	9,865	10,200	10,800
環境関連事業	631	519	800	1,200
営業利益	976	1,584	1,700	1,900

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

29

IRメールマガジンのご案内

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット



適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。



月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。



不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。
<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

30

本日はありがとうございました

NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、
地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright © 2023 NPC Incorporated. All rights reserved.

31